

全国の管理ダム初 SDGsに向けた取組みを情報発信します。

この度、吉野川ダム統合管理事務所では、事務所が実施する取組みと持続可能な開発目標（SDGs）のターゲットとの関係を取りまとめ、SDGsの考え方を念頭に事務所の取組みを進めていきます。

SDGsは、気候変動や格差などの幅広い課題解決のため全ての国の人々が取り組む目標です。取りまとめを行うに当たっては、事務所内の全職員が、日々携わる業務の目標を理解し、SDGsとの関連性を身近に感じるためワークショップを開催し議論を行いました。今回のSDGsの取組みは、その結果を基に作成したものです。

今後は、今回作成したSDGsの考え方を多数の関係者との共通の言語として活用し、関係者との連携・調整を図っていく予定です。

このような取組みは、全国の管理ダムでは初めての試みです。

■ 吉野川ダム統合管理事務所のSDGsに

向けた取組みの詳細は以下に掲載しています。



情報誌「川活」No.17に以下の内容を掲載しています。
SDGsポスター、取組み経緯

http://www.skr.mlit.go.jp/yoshino/kouhoushi/kawa_katsu.html



事務所ホームページに以下の内容を掲載しています。
SDGsポスター、取組み経緯、SDGs－取組み関連表
SDGsと取組みの紐づけ早見表、主な事業とSDGsの関連表

<https://www.skr.mlit.go.jp/yoshino/toukan-sdgs/>



SDGsに取り組むことで多数の関係者との連携・調整が図られます。

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.5 地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト】等に該当します。

令和3年8月6日
国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所

問い合わせ先
国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所 調査課
TEL 0883-72-3000（代表）
副所長 片井 良英（内線204）
○調査課長 清水 正仁（内線351）



吉野川ダム統合管理事務所

SDGs

—持続可能な社会づくりを目指して—

このポスターは、吉野川ダム統合管理事務所の取組みと SDGs の関わりについて、職員全員で考えた結果をまとめたものです。

多くの関係者との連携やDXの推進

レーダー雨量計やCCTVの整備
リアルタイムでの情報公開



農業用水の安定した供給



ダム見学会
小中学生の学習体験



四国4県への安定した水供給



水力発電の利用促進



かわまちづくりやダムカードの配布による観光への寄与



工業用水の安定した供給



ダムの事前放流や
渇水対応タイムラインの活用



上下流交流大会による植樹や間伐(良好な森をつくり川で繋がる海の環境を保全)



ダムの弾力的管理や環境用水の放流によるダム下流環境の改善

吉野川の流域面積は四国の約20%を占め、豊富な水資源は四国4県で活用されています。



取組み方針

- ① 吉野川ダム統合管理事務所の取組みは、SDGsのターゲットと多くの点で合致しています。
- ② SDGsの考え方を念頭に置きつつ取組みを進めていきます。
- ③ SDGsの考え方を多数の関係者との共通の言語として活用し、関係者との連携・調整を図っていきます。



堆砂除去や流木処理等で発生した副産物のリサイクルの推進



気候変動に具体的な対策を



ダム統合管理による洪水調節・渇水調整・流域治水の取組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<吉野川ダム統合管理事務所 SDGs>
当事務所で実施したワークショップの内容などをホームページに公表しています。ぜひ、チェックしてみてください。

